

登録コード	SF419300	開講年度	2026				
授業題目	物質循環学コロキウムⅠ					担当教員	村越 直美
英文授業名	ColloquiumⅠ (Environmental Science)					副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学年	物循3年生
講義室	理学部第13講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
					備考	必修	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	19Sカリ						
	【2019年度以前カリキュラム対象】専門知識に基づく論理的な思考力とともに、分野を越えた課題にも柔軟に対処できる適応性と応用力。					⇔	・地球系分野の文献を読むための専門英語力を付ける。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	教科書や各回に配布するテキストにもとづいて、物質循環について英語で書かれた文献を読んで理解することをとおして、専門用語、論文の書き方、表現法などを学ぶ。						
(5)授業のキーワード	専門英語、自然科学、地球						
(6)授業計画	1. イントロダクション 2. 訳：いきいきとした日本語へ 3. figure caption 解読-1 4. figure caption 解読-2 5. figure caption 解読-3 6. a と the のニュアンス 7. 科学論文と時制 8. can の訳し方 9. 過去形と過去完了形 10. 可能性を示す表現 11. よくあるphrase 12. discussion 13. hearing 14. from the Earth to the Moon 15. まとめ+授業のふりかえりを入力する						
(7)成績評価の方法	提出べ切厳守。 授業中の態度（出席率、授業中の回答・発表などの内容とそれに臨む態度）と、テストおよび期末のレポートによる評価。						
(8)成績評価の基準	期末テストとレポート（それぞれ評価の50%に相当）の合計点： S：≧90点，90点＞A≧80点，80点＞B≧70点，70点＞C≧60点，D＜60点 レポート：地球系分野の英文論文を選び、日本語に訳す。 S：論旨が正確かつ流暢な訳， A：論旨が正確な訳， B：直訳でだいたい論旨が取れている訳， C：直訳で主語述語関係が取れている訳， D：論旨や日本語が通じない訳。						
(9)事前事後学習の内容	プリントを配布およびテキストを紹介するので、授業中に指名されてすぐに答えられるように予復習しておくこと。						
(10)履修上の注意	全講義出席を原則とする。出席率60%未満は不可。 英和・和英辞典などの辞書類（冊子体）を持参すること。電子辞書は推奨しない。 高校で使用した英文法参考書などを常時使えるように持っていること。 専門用語は適切な専門分野の辞書で調べること。専門用語の辞書類は理学部C棟2階の北閲覧室にある。						
(11)質問、相談への対応	授業中及び授業後に適宜受け付ける。						
【教科書】	Modern physical geography, A.H. Strahler & A.N. Strahler, John Wiley & sons Earth - an introduction to physical geology, E.J. Tarbuck & F.K. Lutgens, Prentice Hall						
【参考書】	地学事典，平凡社 地形学辞典，二宮書店 地形の辞典，朝倉書店 堆積学辞典，朝倉書店 Glossary of Geology, American Geological Institute 理化学事典，岩波書店						